

## ホンモロコ天然第二世代種苗生産結果

三枝 仁・吉岡 剛

### ◆ 背景・目的

ホンモロコ資源の回復を図るため、発眼卵の大量生産放流に取り組んでいる。本事業では、放流用の卵を天然第二世代の親魚から採卵する計画となっており、資源の遺伝的多様性確保の観点から天然第一世代から採卵した卵を高い歩留りで親魚にまで養成する必要があるため、水産試験場において天然第二世代の種苗生産を行った。

### ◆ 成果の内容・特徴

- ・ 種苗生産には、天然第一世代から採卵し、5月10日から26日にふ化させた仔魚1,536千尾を用いた。
- ・ 飼育は屋外の40㎡の池を用い、約40日間飼育する4区と、73日間飼育する2区で実施した。
- ・ 40日間飼育した4区の生残率は、51.05%～68.55%と良好な歩留りで飼育できていた。一方、73日間飼育した区では、収容から10日目までのツボワムシ給餌量を確保できなかったことが影響し、生残率が16.14%と18.33%と低い結果となった。

### ◆ 成果の活用・留意点

- ・ 今後は安定した給餌量の確保に努め、歩留りと成長の両立を目指して取り組む必要がある。

表. 平成20年度ホンモロコ種苗生産結果

飼育区分	収容日	飼育日数	ふ化仔魚 収容尾数	生産 尾数	生残率 (%)	平均体長 (mm±標準偏差)	生産重量 (g)
短期1	5/10、11	38	201,181	126,673	62.96	12.90±1.95	3,641
短期2	5/10、11	38	201,181	102,706	51.05	11.73±1.81	1,748
短期3	5/12、13	40	208,314	142,809	68.55	12.99±1.40	3,891
短期4	5/12、13	40	208,314	141,607	67.98	13.18±1.65	4,145
長期1	5/25、26	73	358,514	65,725	18.33	27.56±2.85	22,934
長期2	5/25、26	73	358,514	57,864	16.14	30.13±2.65	28,261
計			1,536,018	637,384	41.50		